

2015 年 10 月 5 日
株式会社神戸デジタル・ラボ

神戸デジタル・ラボ、メガネ型ウェアラブル端末用アプリケーションのデモを「第 28 回国際メガネ展 iOFT」に出展

—翻訳、道案内、拡大、情報表示などの機能をメガネ型ウェアラブル端末上で自動的に表示—

株式会社神戸デジタル・ラボ(本社:兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長:永吉 一郎、以下 KDL)は、2015 年 10 月 6 日から 8 日まで東京ビッグサイトで開催される、「第 28 回国際メガネ展 iOFT」において、メガネ型ウェアラブル端末向けのアプリケーション「WearAssist(以下、ウェアシスト)」を株式会社メガネスーパー(本社:神奈川県小田原市、代表取締役社長 星崎 尚彦)の展示ブース内で展示します。

「ウェアシスト」とはウェアラブル端末上で動作するアプリケーションサービスで、KDL が 2014 年より様々なメガネ型ウェアラブル端末向けに開発を進めているものです。本展示会では、海外旅行での活用を利用シーンとして想定し、デモンストレーションを通じてご紹介します。

■展示の内容

KDL が開発するウェアラブル端末向けのアプリケーション「ウェアシスト」の機能や技術、これまでの開発実績などをご紹介します。見どころは、メガネ型ウェアラブル端末装着時のウェアシストによる見え方のデモンストレーションで、海外旅行での不便なシーンがウェアシストによって解消される様子を、メガネ型ウェアラブル端末のタイプ別にご覧いただけます。翻訳、道案内、拡大、情報表示などの機能により、状況に応じて必要な情報がメガネを通して提供される様子をぜひ体感してください。



デモンストレーションのスクリーンショット

■ウェアラブル端末向けアプリケーション「WearAssist(ウェアシスト)」とは

「ウェアシスト」とはウェアラブルアシスタントの略で、「日常生活のピンチからユーザーを守る」をコンセプトとした、ウェアラブル端末向けのアプリケーションです。日常生活で起こるさまざまな不便・危険・ハンディキャップを感じるシチュエーション(健康状態・コミュニケーション・障がいなど)を、身に付けるデバイスによって解消し、便利で安心な未来づくりの支援を目指しています。

例えば、端末を通して見ているものの画像認識や音声認識、テキスト変換によるリアルタイムな翻訳、向いた方角にある観光スポット・公共交通機関・バリアフリー情報などの案内を表示するなど、身に付けるメリットを活かしたアプリケーションの企画・開発

に取り組んでいます。

■展示会概要

展示会名称 : 第 28 回 国際 メガネ展 iOFT

会期 : 2015 年 10 月 6 日(火)~10 月 8 日(木) 10:00~18:00(最終日は 17:00 まで)

会場 : 東京ビッグサイト(〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1 東京ビッグサイト)

ゾーン : 一般

小間番号 : 1-17 株式会社メガネスーパー様ブース内

【ウェアシスト紹介ページ】:<http://www.kdl.co.jp/special/wearable.html>



【会社概要】

社名 : 株式会社 神戸デジタル・ラボ

代表者 : 代表取締役社長 永吉 一郎

所在地 : (神戸本社) 650-0034 神戸市中央区京町 72 番地 新クレセントビル
(東京支社) 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-3-27 芝公園 PR-EX ビル 5F

設立 : 1995 年 10 月

資本金 : 2 億 995 万円

従業員数: 172 名(2015 年 7 月現在)

URL : <http://www.kdl.co.jp/>

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 神戸デジタル・ラボ 先端技術開発事業部

担当 : 佐々木・岡田

TEL : 078-335-5569

FAX : 078-327-2278

Mail : info@kdl.co.jp